

令和2年度第1回郷土文化館協議会 概要

- 1 日 時 令和2年11月16日(月) 午後2時～3時55分
- 2 会 場 小田原市郷土文化館 会議室
- 3 出席者
 - (1) 郷土文化館協議会委員
一寸木委員長、鳥居副委員長、篠原委員、田尾委員、高松委員、田嶋委員
 - (2) 市事務局側
柳下教育長、石川文化部長、古矢文化部副部長
湯浅生涯学習課副課長、秋山主任、田中主任、保坂主事
- 4 傍聴者：1名
- 5 会議の概要
 - 1 教育長挨拶
柳下教育長が挨拶をした。
 - 2 委員紹介・職員紹介
委員及び職員が自己紹介をした。
 - 3 報告事項
議事進行は一寸木委員長が行った。
 - (1) 令和元年度・令和2年度上半期 郷土文化館事業について
 - (2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
資料 1 から 13 に沿って湯浅副課長が報告をした。

①「令和元年度 郷土文化館入館者数」(資料1-1)について

- 【田尾委員】 天守閣の指定管理による運営が2期目になったが、入館者数に影響はあるか。
- 【湯浅副課長】 新型コロナウイルス感染症の影響はあるが、天守閣の指定管理による影響については把握していない。

②「令和元年度 学校利用」(資料1-3)について

- 【一寸木委員長】 指導要領の変更により外に出る授業が減った可能性があるため、新カリキュラムに沿った展示内容やアウトリーチ、つまり出前授業を増やすなどの活動が重要である。
- 【篠原委員】 養護学校との連携や、市民団体との連携も有意義であるため進めていただきたい。
- 【鳥居副委員長】 小学校の利用が多いことがわかるが、子どもは将来の博物館ファンにつながるため、子どもが来て楽しめる工夫がより必要である。
- 【田嶋委員】 学校利用は学校に来館を依頼するのか、または企画を周知するのか。
- 【湯浅副課長】 校長会や学校へ企画のチラシを配布するなど周知を行っており、今後はさらに学校に興味をもってもらう企画を考えたい。

- 【田嶋委員】 小学生向けの事業などはあるのか。
【湯浅副課長】 ターゲットを設定している企画もある。

③「令和元年度 その他普及事業 実施概要」(資料3-1)について

- 【鳥居副委員長】 他館連携事業はどのような位置づけであるのか、WESKAMS との連携企画展は何を連携したか。
【湯浅副課長】 サテライト展示である。
【鳥居副委員長】 また主催事業は参加人数で効果を計れるが、連携事業は効果の数値化が難しく趣旨や内容を記載したほうが良いのではないか。また内野邸事業との連携はどのような内容か。
【湯浅副課長】 市民協働で公開し郷土文化館係が事務局を担っていたが、昨年度から職員を派遣して公開、武功庵は市民が行って活用している。その他内野邸での催事を行っている
【鳥居副委員長】 内野邸活用関係、市民団体という項目ではなく「地域連携事業」でまとめてはどうか。

④「令和元年度 資料調査・収集・管理等業務実施 概要」(資料4-1)について

- 【田尾委員】 歴史資料の紙資料はどこで保管しているのか。
【湯浅副課長】 中世文書、絵図、指定された資料は松永記念館収蔵庫、近世資料は郷土文化館に収蔵している。
【鳥居副委員長】 民俗資料の資料名に地域名を入れるなど、資料名のレベルを合わせるように、またホームページでの資料紹介は情報発信に当たるため普及事業ではないか。

4 協議事項

議事進行は一寸木委員長が行った。

(1)「令和2年度下半期 郷土文化館事業について」(資料14~18)

資料14から18に沿って湯浅副課長が報告をした。

①「令和2年度下半期 博物館構想推進事業における取組計画(案)」(資料18)について

- 【鳥居副委員長】 外部向けの事業が資料に明記されているが、内部での博物館建設までの計画として、資料の整理やデジタル化、建築までのスケジュールはないか。
【石川部長】 現在は令和4年度までの総合計画を実施中であり、博物館の計画は次期総合計画に載せられたらと考えている。また博物館の計画にあたっては用地確保が必要になるため、アンテナを張っている。
【湯浅副課長】 資料の整理やデジタル化については試行錯誤しており、現在は博物館資料を所蔵している市の各施設が足並みをそろえてデジタル上でデー

データベース化を目指している。

②「令和2年度下半期 資料調査・収集・保管事業等業務 実施計画(案)」(資料16-1)について

- 【鳥居副委員長】 一般市民は何が寄付対象になるかわからないため、寄付対象を明文化しているか。
- 【湯浅副課長】 これについて事務局より、資料収集方針を作成し市ホームページで公開しているが、収蔵場所のキャパシティの問題があるため一概に受け入れられるわけではない。
- 【鳥居副委員長】 将来の博物館へ移行する時には資料がデジタル化され整理されている必要があるため、デジタル化や資料整理の予算が必要である。

③「令和2年度下半期 展示事業実施計画(案)」(資料14)

- 【高松委員】 中学校では職場体験で博物館を知りたい生徒が数人行くことはあるが、校外へ出ることが難しいとの意見があり、これについて事務局より、学校に出向く事業をより活発に行いたいと思っている。
- 【一寸木委員長】 それでは、これをもちまして閉会させていただきます。

(閉会后、田中主任からミニ展示「小田原市の誕生」、最新出土品展を解説)